

さんぽみち



発行 わがまち大田鵜の木地区推進委員会

連絡先
鵜の木特別出張所
3750-4241

子どもたちが、身の危険を感じた場合に、緊急に助けを求めることのできる場所、また、子どもたちの相談の場として「こどもSOSの家」を設置するものです。



このステッカーのあるところが「こどもSOSの家」です。

こどもSOSの家とは

東調布第三小学校PTA会長

久保井 良実

子供たちに安心と安全、社会への信頼を与えていくために、全国的に「子ども110番」や「SOS」等の事業がすすんでいます。

東調布第三小学校でも、昨秋より「子ども110番」事業を、近隣の小学校と共同でステッカーを作り活動を始めました。丁度その頃、大田区小学校PTA連絡協議会から、二年越しに区長へお願いしていた『統一ステッカー』さらに『保険付き』という話が発現できそうだという情報が入り、地域の皆様へのお願いは、その時期を待つことになりました。この度、『こどもSOSの家』事業が実現の運びとなり、校内PTA会員をはじめ、地域の皆様のご協力をいただきありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。

こどもSOSの家がスタートします

嶺町小学校PTA会長

国分 徹

この数年「こども110番の家」という名の下にPTA Aと地域と一体になり取り組んできた事業がこの度「大田区」主体の事業として「こどもSOSの家」として新たに発足致しました。呼び名は変わっても内容は今まで通り「我が町の子供は我が町の手で守る」地域が一体となり、子供達をターゲットにした卑劣な犯罪を一件でも少なく出来るように是非ご協力をお願いします。前回同様「ステッカー」を目立つ場所に貼っていただき、危険を感じた時にいつでも駆け込める場を多くの方々提供して頂ければ幸いです。

千鳥小学校PTA会長

印南 陽介

千鳥小学校では、平成十一年の秋に町会のご協力を得て「こども110番の家」が開始しました。現在まで、おかげさまで何事もなく無事に過ぎました。ご協力いただいています皆様、ありがとうございます。

この度、大田区で「こどもSOSの家」の事業が発足し、新たに協力頂くわけですが、千鳥小学校PTAでは「110番」と「SOS」の違いを協力者の方々に説明にあがりご承諾を頂き、新たに始動いたします。

今後も、子どもたちにも、協力者にも何事もなく過ぎていくことを願いますが、いざ、子どもたちが保護を求めてきたときに、適切な対応をしていただけたために、この事業を推進していきたいと思ひます。

